



9月ほけんだより

こども未来局
保育・子育て推進部

令和8年9月1日
生田保育園

厳しい残暑が続いておりますが、川崎市では早くもインフルエンザの流行が始まりました。
手洗いや咳エチケットなどの感染症対策を心がけ、体調の変化に注意しましょう。

9月9日は「救急の日」



ご家庭でも、日常生活の中で起こりやすい事故やけがを防ぐため、身の回りの危険な場所がないか確認してみましょう。

窒息・誤飲について

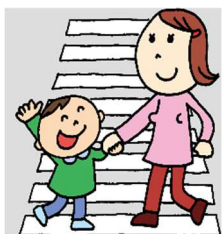
- ・浴室やバケツなど、水回りでの事故（溺水）に気をつける
- ・小さな電池（ボタン電池など）の誤飲に注意する

転倒・転落について

- ・床に物を置きっぱなしにしない
- ・引き出しや扉の開閉に注意する
- ・ベランダや窓付近に踏み台になるものを置かない、窓の鍵にも注意する

交通事故について

- ・道路を歩くときは大人と手をつなぐ
- ・信号や横断歩道の交通ルールを知らせる
- ・飛び出しをしないよう繰り返し伝える



緊急時の応急手当法

誤飲(異物を飲んだ)

のどに異物をつまらせているときは、取る前に救急車を呼びましょう。

救急車を呼ぶほどではなくても、誤飲したものによっては、緊急性の高いものがあります。誤飲の対処法に迷った時には、かかりつけ医や「中毒110番」「#8000」などに相談し対処しましょう。

打撲(転落・転落)

頭の場合：意識がない、出血が止まらない、繰り返し嘔吐があるときは救急車を呼びましょう。意識があって元気な時でも1～2日は様子を見ることが大切です。

身体の場合：お腹を強く打った時は、衣類を緩めて、安静にして、病院を受診しましょう。腕や足を動かして強く痛がる場合は、骨折や脱臼の可能性があります。その部分を動かさないようにして、添え木などで固定して、病院を受診しましょう。



保健行事

- 身体測定 1日(火) 0・1・2歳児
2日(水) 3・4・5歳児
- 園医相談日 8日(火)



参考資料：こども家庭庁

「こどもを事故から守る！事故防止ハンドブック」

イラスト出典：メイト